

福井宇部生コンクリート

実績重ねるFBコン 国交省発注工事に採用

「福井宇部FBコン」

が国交省福井河川国道事務所発注の工事で採用されるなど実績を積み重ねている。すでにNETIS（国土交通省新技術情報システム、登録No. KK11000171A）を取得しており、これまでに福井県発注の九頭竜川流域下水道事業の水処理施設などで採用実績がある。

福井宇部生コンクリート（南谷哲彦社長）が展開しているフライアッシュ混合型高炉セメントコンクリート

FBコンは福井宇部生コンクリートとユーコンが共同開発した特殊コンクリート。高炉セメントコンクリートに北陸電力の敦賀火力発電所で発生するフライアッシュを混和材として20%置換で使用することで、高炉セメントで懸念されるひび割

れ発生リスクを抑制する。そのメカニズムは、フライアッシュを置換することでセメント使用量を減らし、水和熱による温度上昇を抑制、かつ温度降下速度が小さい特性を活かして温度ひび割れの発生を抑制する。また、従来の高炉セメントコン

クリートと比べてコンクリート内部と表面部の温度差が小さいという特性も温度ひび割れ低減に寄与している。今回採用となったのは国土交通省福井河川国道事務所発注の永平寺吉野堺地区地下道設置工事・吉野地区ONランプ橋他下部工事の



国交省の物件でFBコンの打設工事が進む

2箇所、橋梁下部工やボックスカルバートにFBコンが採用された。打設量は5〜6000㎡。NETISに登録されたことで国交省発注の工事でも採用が検討されるようになったという。

同社ではFBコンを温度ひび割れが懸念される土木用途で有効なものとして提案していく。総合評価入札方式が増えるなか、施工者はひび割れ対策の技術提案に力を注いでいる。ひび割れのことをよく知る我々も、施工者が行う技術提案には積極的に関わらなければならぬ。当社としても、温度ひび割れが問題となりやすいマスコンクリートなどを中心に、この福井宇部FBコンを提案していきたい（石川裕夏常務取締役）として、NETISを活用しながらユーザーにメリットある技術として提案していく。